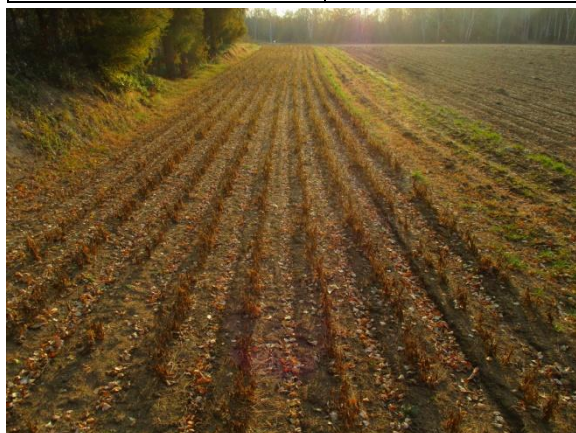


栃の木からの手紙

2016年 11月号



枯葉が畑を覆いすっかり秋色になった大豆畑。遅れに遅れて10月末、ビートの収穫の合間に漸く収穫してニオ積みをしました。収穫量は5クロ半。大豆の脱穀は11月中旬を予定しています。

この秋は雪の到来が早く10月23日に僅かな初雪を確認して以来、11月3日夕方には本格的な雪で積雪状態になりました。例年では10日頃までに収穫を完了させるビートも、雪に埋まる事無く2日には終了しました。

11月 霜 月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

3日～5日 : 第67回 美幌文化祭

7日 : 立冬

14日 : 満月 : 旧 10月15日

22日 : 小雪

29日 : 新月 : 旧 11月 1日

10月23日(日曜日)。北見センターでオホーツク収穫祭が行われました。参加農家は、北見2軒。美幌1軒。丸瀬布1軒の計4軒。数年振りに参加させて頂いた高橋農場は、例年ではこの時期、大空町の輝農祭に参加していましたが今回は北見の収穫祭と開催日がずれましたので北見センターの収穫祭に参加できました。一週間前の輝農祭には参加する予定でしたが、農作業の遅れで参加する事ができませんでした。

北見センターの収穫祭では農産物の販売の他にバザーや有機コーヒーや豚汁等の提供が在った他に、置戸町の元給食センターの管理栄養士 佐々木 十美さん監修のドライカレーの試食が行われ賑わっていました。

ひとつ気になった事は、小袋に詰めた芋を一袋ずつじっくり見て芋に付いているそうか病や傷を「ここにも、ここにもこんなにある。」と指摘していた年配の奥様方。

11月4日、衆議院特別委員会でTPPの承認と関連法案が強制採決によって可決されてしまいました。TPPは農業者だけではなく、生活者全てに関わってくる問題なのです。気付かぬ内に生活者の多くが一部の富裕層の人たちに隷属する様な事なのですよ！！

見てみなさい、遺伝子組換え食品。何時の間にか日本が最大の消費国なのです。反対をしていたのでは？

